

学 校 概 要

【 校章 】

1 学校名

豊橋市立羽田中学校



2 所在地等

〒440-8081 豊橋市西羽田町 43 番地の 1

TEL : (0532) 31-3145 Fax : (0532) 34-1683)

[http : //www.hada-j.toyohashi.ed.jp/](http://www.hada-j.toyohashi.ed.jp/)

E-mail : hada-j@toyohashi.ed.jp

3 学校規模

学級数 : 通常学級 15 特別支援学級 2 合計 17 学級

教職員数 : 校長 1 教頭 1 教諭 30 養護教諭 1 非常勤講師 4

事務職員 1 業務士 (用務) 1 業務士 (給食) 2 合計 41 名

生徒数 : 男子 237 名 女子 268 名 合計 505 名

4 学校教育目標

- 根づよい人間……基礎基本を重んじ、確かな学力を身につける生徒
- 創造的な人間……自己の存在に自信を持ち、真理を追究する生徒
- 心豊かな人間……心身ともに健康で、感動する心を持つ生徒

5 教育理念

- 個性を生かし、創造性を伸ばし、わかる喜びや楽しさ、成就感や満足感が得られる指導に努める。
- お互いの立場を理解し、信頼し協力し合い、暖かな気持ちで触れ合うことのできる学校づくりに努める。
- いのちを大切にし、平和で安全な学校づくりに努める。
- 家庭や地域との連携を深め、協力して子どもたちを育てる。
- 開かれた学校づくりに努める。

6 経営基本構想

◎語り合う教育を大切にする。

- 「旺盛な好奇心」を引き出し、指導体制や指導方法を改善し、話し合い活動を通して、活気のある授業を構築する。
- 学校生活全般を通して、社会性を育て、自分に自信をもたせる。
- 学校行事を自分たちで創ることを通して、生徒の豊かな感性を育成する。
- 研修を推進して教師活動の基礎基本を充実させ、学校教育全般を多角的に見直し、常に改善を図っていく。

7 地域の特徴

本校はJR豊橋駅より西に徒歩15分。静かな住宅街の中に位置しています。校区内には羽田八幡宮があり、手筒花火で有名です。

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

The school has been doing a variety of volunteer activities which are centered as student council activities. Throughout the year, collection of plastic bottle caps, aluminum cans and bell marks is conducted. Also a greetings activity and clean-up movement within the school district are actively participated in by students and teachers. The school has also been active in fundraising activities. Students and teachers stand at the Toyohashi Station and its nearby streets to collect money for the victims of the Great East Japan Earthquake. So far, about 1.8 million yen has been donated to the Japanese Red Cross Society through the Toyohashi City Board of Education. A year later, the students carried out another fundraising activity and was able to collect ¥450,000. The money was sent to the Hanamaki Disaster Prevention Office as part of the school's exchange activities with Hanamaki Junior High School in Hanamaki, Iwate. In return, a letter of gratitude was received from the mayor of Hanamaki City. It is expected that these kinds of volunteer activities will be continued and promoted.

Connected by Miyazawa Kenji's poem "Be Not Defeated by the Rain (Ame Ni Mo Makezu)", the school began conducting exchange activities with Hanamaki Junior High School in Iwate prefecture and Fukuoka Junior High School in Nakatsugawa Shi, Gifu. This exchange is called "Ame Ni Mo Makezu Project". In addition, news from each of the schools' student councils is known through DVD exchange. The DVDs contain information about the school and its activities and the activity aims to broaden the view of the students as well as enrich the activities of the student council.

As the school continues with these kinds of activities, in the process, it aims to achieve education for sustainable development.

本校はこれまで、生徒会活動を中心として様々なボランティア活動を行っている。年間を通しては、ペットボトルキャップ、アルミ缶、ベルマーク回収を継続的に行っている。また、校区内の清掃やあいさつ運動も積極的に行っている。募金活動にも積極的で、東日本大震災直後には豊橋駅周辺で街頭募金活動を行い、180万円を豊橋市教育委員会を通し日本赤十字社に募金した。また、1年後にも生徒の発案で同様の募金活動を全校生徒で行い、45万円を集めた。このお金は、交流活動を始めた花巻市立花巻中学校の関係で、花巻市の災害対策室へ送り、花巻市長からもお礼の手紙をいただいた。今後も、継続的にボランティア活動を行っていく予定である。

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を縁に、2年前より、岐阜県中津川市立福岡中学校や岩手県花巻市立花巻中学校の交流活動を始めた。この交流活動を「雨ニモマケズプロジェクト」

と名前をつけて呼んでいる。まだ、始めたばかりではあるが、お互いの学校紹介 DVD の交換や生徒会だより、行事の様子などを知らせ合うことで、生徒たちは視野を広げ、更に生徒会活動を充実したものにしようと日々取り組んでいる。

本校では、このような活動を継続していくことで、全校で持続発展教育を実現している。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

The purpose and objectives of the school's efforts are as follows:

本校の取り組みの目的は以下のようである。

1 清掃活動

1年生は、校区内の小学校と協力して、校区を流れる牟呂用水を清掃することを通して、牟呂用水を作った先人の苦勞をしのぶとともに、地域の歴史について知り、地域への感謝の気持ちをもつ。2、3年生は校区内の清掃活動を通して、校区に対する理解を深め、愛着心を育てる。

2 キャリア教育

1年生は、福祉実践教室や自然体験教室を通して、仲間とかかわり、自分を成長させ、自己を高める。2年生は、職場体験学習を通して、人や地域とかかわり、自分の将来を考える。3年生は、修学旅行や自分の進路について考える活動を通して、地域や家族への感謝の気持ちを持ち、前向きに生きていく意欲を高める。

3 生徒会活動 (ボランティア)

- (1) アルミ缶回収を通して、限りある資源を大切にすることを育てる。
- (2) ペットボトルキャップ回収、ベルマーク回収、募金活動等を通して、ボランティア精神を学ぶ。

4 雨ニモマケズプロジェクト

他の中学校との交流を通して、自分の学校に誇りをもったり、視野を広げたりすることができる。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年生			福祉 教室				自然体 験教室	牟呂用 水浄化 活動				発表会
2年生							職場体 験学習				校区清掃活動	発表会
3年生			修学 旅行				校区清 掃活動				発表会	
生徒会 活動	ペットボトルキャップ・アルミ缶・ベルマーク回収運動											
		緑の羽 根募金			福祉ボラ ンティア		赤い羽 根募金					東日本大震 災募金活動

	活動		活動	活動					
交流活動	交流活動(岐阜県中津川市立福岡中学校・岩手県花巻市立花巻中学校)								

Execution (プロジェクトの実施)

(1) 1年生の取り組み

○福祉実践教室

福祉実践教室で様々な経験を通して、福祉について深く考え今後の生活に生かす。また、まとめの新聞を作成し、今後の活動につなげる。

○自然体験教室

- ・人、自然との出会い、不自由な生活の体験を通して、様々なことに気づき、自己の心身を鍛える。
- ・集団生活での様々な活動を通して、一人一人が思いやりをもち、自主性や連帯感を養い、自分だけではできないことができるということがわかる。

○牟呂用水浄化活動

校区を流れる牟呂用水を築いた先人をしのび、地域や歴史に触れながら、花田小学校の児童とともに清掃活動を行うことで、奉仕する心を養い、地域への感謝の気持ちをもつ。

(2) 2年生の取り組み

○職場体験学習

- ・体験したことを基に、将来「働くこと」や「就きたい職業」について、自分なりの思いや考えをもつことを目的としている。
- ・親を含め、社会に出ている人たちはどんな思いや姿で働いているかを知る。
- ・自分で目標を持ち、計画・交渉し、体験をやり遂げる。
- ・親、講師、友達、先生、受け入れ先でお世話になった人たちに感謝の気持ちをもつ。
- ・職場体験学習の内容と学んだことを学年で共有し、働くことの尊さや意義の理解を深め、将来の進路選択に役立てる。

○校区清掃活動

一時的にきれいにするだけでなく、きれいな状態を保ちたいと思える掃除の仕方を学び、清掃活動を通して、心を磨き、何事にも挑戦できる人間を育成する。

(3) 3年生の取り組み

○修学旅行

ア 交流

- ・体験学習の中で、講師や職人の方々との触れ合いを通して、コミュニケーション能力を高める。
- ・様々な活動を通して、規律を身に着け、集団としての質を高め、連帯感や自主性を養う。

イ 伝統・文化

下町文化、景観、伝統工芸などに触れる。また、名所や博物館・科学館などを見学し、我が国の歴史や文化についての造詣を深める。

○校区清掃活動

校区を清掃することで、校区に対する理解を深め、校区に対する愛着心を育てる。また、これらの活動を通して、人として必要な勤労奉仕の精神を育てる。

(4) 全校の取り組み

○生徒会活動（ボランティア）

ア あいさつ運動

- ・本気で元気な挨拶ができる学校にすることで、学校を活性化させる。
- ・生徒同士があいさつを交わすことで絆を深める。

イ エコキャップキャンペーン

エコキャップ運動を通して、ワクチンの寄付につなげ、「誰かのために何かをしたい」というボランティア精神と行動力を育成する。

○雨ニモマケズプロジェクト（交流活動）

ア 岩手県花巻中学校

代表生徒が訪問し、交換作品の贈呈と交流活動を行う。

イ 岐阜県福岡中学校

部活動交流として、合同練習や練習試合を行う。

Type of materials to be used（使用する教材）

1 福祉実践教室

・教材教具

車いす 点字 ブラインド・ウォーク 高齢者疑似体験 視覚障害者ガイドヘルプ
・書籍
手話通訳

2 自然体験教室

・書籍

野外活動やグループ遊びの本

3 傘呂用水浄化活動

・金ばさみ ・軍手 ・ゴミ袋 ・竹ぼうき ・十能 ・たけみ
・スコップ ・シャベル ・脚立 ・熊手

4 職場体験学習

・書籍

なるにはBOOK 13歳のハローワーク 仕事の図鑑 職業ガイド
職業ガイドブック みんなの仕事101

5 校区清掃活動

・軍手 ・ゴミ袋 ・竹ぼうき ・十能 ・たけみ ・ほうき
・スコップ ・熊手 ・草かき ・バケツ

6 修学旅行

- ・教材教具
修学旅行マップ
- ・書籍
東京に関する本

7 生徒会活動

- ・教材教具
ミーティングシート 募金箱
- ・書籍
生徒会活動紹介
- ・ウェブサイト
執行部専用メールアドレス・ホームページ facebook アカウント

8 雨ニモマケズプロジェクト

- ・教材教具
ウェブカメラ
- ・書籍
東日本大震災 釜石の被害

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

- ・学校教育活動において、振り返りを実施し、生徒の自己評価を次の活動に生かす。
- ・校区の方の声を聞き（学校評議員・PTA・保護者）次の活動に生かす。
- ・活動に取り組む姿勢を記録し、ボランティア精神の育つ姿を評価していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

17/Feb/2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Hada Junior High School